

旧マッケンジー住宅顕彰事業

展覧会

マッケンジー氏と静岡茶

～静岡茶貿易のパイオニア～



ダンカン・J・マッケンジー
(1885年ー1951年)

国登録有形文化財である旧マッケンジー住宅を舞台に、日本茶業界の拡大に貢献したダンカン・J・マッケンジーの業績と静岡茶について、写真や解説等によるパネル展示で紹介いたします。

※常設展示「住む人の心に寄り添う建築ヴォーリズの洋館たち」～旧マッケンジー住宅を建てた建築家の功績～も同時開催中！

会期

平成27年

10/31(土)～1/31(日)

平成28年

会場：旧マッケンジー住宅（住所：静岡市駿河区高松 2852）

開館時間：午前9時～午後4時30分

主催：静岡市

企画・制作・お問い合わせ：



公益財団法人

静岡市文化振興財団 TEL:054-255-4746

Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

■ マッケンジー氏と静岡茶

旧マッケンジー住宅とは

旧マッケンジー住宅は、静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の拡大に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

この建物を設計したのは、日本各地に多くの作品を残した建築家のウィリアム・M・ヴォーリスです。赤い西洋瓦葺きの屋根、スタッコ仕上げの荒い白壁、アーチ型の窓などが用いられたスパニッシュスタイルの住宅で、夫妻はこの屋敷にペガサス座の星の名から取った“HOMAM(ホマム)”という愛称をつけて親しんでいました。

昭和47年に夫人が帰国した際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。



▲国登録有形文化財。中央の展望室からは、美しい富士山と海を眺める事ができます。

■ おいしい静岡茶の入れ方とお話し

参加者募集

- 日 時：11月14日(土)13:30～16:00
- 会 場：旧マッケンジー住宅
(静岡市駿河区高松 2852 番地)
- 対 象：どなたでも 定員 30 名
- 講 師：日本茶インストラクター
- 申込方法：電話で(公財)静岡市文化振興財団
(TEL:054-255-4746 / 平日9:00～17:30)まで。申込順。

- 内 容：静岡茶の輸出に貢献したダンカン・J・マッケンジー氏の住宅にて、日本茶インストラクターによる解説で、美味しい静岡茶の入れ方や静岡茶の歴史について学ぶ講座です。講座終了後には、旧マッケンジー住宅の見どころを解説するガイドツアーもあります。

静岡市お茶の日記念事業

■ 旧マッケンジー住宅 見学利用のご案内

住 所：静岡市駿河区高松 2852 番地
電 話：054-237-0573
開館時間：午前9時～午後4時30分
月曜休館
祝休日は開館、翌平日休館
入場無料

<行き方> バス：しずてつジャストラインバス石田街道線、「浜敷地」または「敷地北」下車、徒歩5分。
車：下図矢印のとおりに入庫してください。国道150号線から右折進入はできません。駐車スペースに限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

